

2011 年度 3D 教育研究会 『公開授業見学会』 レポート

公開授業見学会



グループコミュニケーション公開授業

会場：小松原高等学校
開催：2011年11月5日(土)
15:00～15:50
終了後意見交換会

小松原高等学校 (私立・全日制・男子)

住 所 〒 336-0017 さいたま市南区南浦和 3-21-8
電話番号 048-885-1488
HP Address <http://www.komatsubara.ac.jp/>

小松原高等学校

生徒一人ひとりの人間性育む教育姿勢の小松原高等学校！

各学年より進学コース、総合コース、工業系コースのそれぞれ1クラスずつを対象にグループコミュニケーションの公開授業が行われました。



小松原高等学校は昭和 34 年に創立されました。以来、教育目標に「みんなから愛される人間」「社会に役立つ人間」「勤労を尊び前進する人間」を掲げ、徹底した学習指導と共に、挨拶や言葉使いに始まる礼儀、規律のある生活習慣、公共心の育成など、豊かな人格形成の基礎となる教育に力を注ぎつつ、知識や技術に偏ることなく、生徒一人ひとりの人間性をあらゆる角度から見つめ、バランスのとれた人間を育むことを教育の基本にしている学校です。

クラス別の各プログラムは以下の通りでした。

【授業内容】

- 普通科 1 年 2 組 『反論ゲーム』
- 普通科 1 年 8 組 『もったいないが地球を救う』
- 情報科 1 年 1 組 『もしあなたが親だったら』
- 普通科 2 年 2 組 『男女交際について考える』
- 普通科 2 年 9 組 『あなたはどんなペットを飼いたい？』
- 機械科 2 年 2 組 『私のストレス解消法』
- 普通科 3 年 1 組 『ブレン・ストーミング（頭脳の嵐）』
- 普通科 3 年 7 組 『良い気持ちにさせようー様々な生き方ー』
- 情報科 3 年 1 組 『小論文対策 死刑は廃止すべきか』

今回は全クラスをくまなく見学させていただきました。

各教材がある中で、先生方の授業の進め方も様々で、グループ学習から班長（リーダー）の発表に至るまで、終始リラックスした良い雰囲気の中での公開授業となりました。授業終盤には「ふりかえりシート」を記入させ、各々が意見をまとめているようでした。

意見交換会

小松原高等学校・進路指導部部長の三島先生の司会により、意見交換会がスタート (以下、内容の抜粋)

これから短い時間ですけれども、本日の情報交換会ということで、初めて全学年、全コースの代表クラスという形で実施いたしました。後程、校長からお話があるかもしれませんが、本校は総合高校で、特進、総合、工業の各科があり、偏差値でいうと様々な生徒を集めている学校です。どうしてもコースごとの特徴であったり、生徒の特質の差があったりして、その辺りが非常に難しいところでございますが、本日はご覧いただいた率直な意見が頂ければ有り難いと思います。まず始めに、本校の校長からご挨拶させていただきます。

司会：進路指導部部長・三島里司先生【小松原高等学校】



今日は、3D教育の公開授業ということで、ご参加いただきましてありがとうございました。また、先生方には大変お疲れ様でした。慣れない指導をされた先生もかなりいたのではないかと思います。今、進路部長の方からもありましたように、本校は特進から工業系の学科まで、本当に多様な生徒がおりまして、先生方もそういった生徒の実情を踏まえて工夫してテーマを設定し実施したと思われまます。各学年3クラスずつ、合わせて9クラスの生徒諸君は、私が見ている限り頑張っていたかなという感じがいたしました。ただ残念ながら、ちょうど今日はいろんな大会が外でございまして、元気な生徒が公欠でいなかったというクラスもたくさんありました。この生徒がいればいろいろと引っ掻き回したり、意見をどんどん出したりして、もっと盛り上がった面もあったのかなという気がしております。

これから情報交換会ということですが、先生方のほうはやってみた立場から、見ていただいた方はその立場から、感想を含めて、良かった点悪かった点、うまくいったところそうでないところを自由に情報交換していただいて、何か一つでも良いものを見つけていただければ有り難いと思っております。

校長・加藤正芳先生【小松原高等学校】

まずは本校の先生方から簡単な感想を頂いて、全員が終わってから、それに対してご意見・ご感想を頂くという形でよろしいでしょうか。では、3年生から進学・総合・工業の順番で、今日の感想をお願いします。ただし、本校のシステムに関する批判というのは今回はご遠慮ください。今日の感想と生徒の状況などをお話いただければと思います。よろしくをお願いします。

司会：進路指導部部長・三島里司先生【小松原高等学校】



3年1組で『ブレン・ストーミング』を担当いたしました。今回、自分のクラスではないクラスでやらせていただきまして、内容的には生徒からも活発に意見が出て、自由にやっていたので良かったかなというのが感想です。また、自分自身も楽しく授業ができました。自分のクラスではないという点で、良い面悪い面があったように思います。まず、やりにくかった点としては、どこまでどう引っ張っていいのか、どこで止めていいのか、どこまで自由にさせていいのかという部分で、自分のクラスほどできなかつたかなという気がします。良かった点としては、バックグラウンドの部分をもっと無視することができました。自分のクラスの子だと余計な意識が入るといふか、なんでここでこんなことを言うのだろうか、遅刻したらどうしようとか、そういったことを気にしなかったのが、純粋に授業自体に専念できたということが良かった点です。いい機会を与えてくださって、ありがとうございました。(普3-1 奈良井洋介先生)



失敗しました(笑)。今日は8人が公欠で3人が当日欠席で、元気な子たちがみな姿がありませんでした。その中で組み立てていこうと思ったのですが、自分で作ったということでもかなり後悔もあります。あまりにも盛り上がりませんので、題材を途中で変えたというか、材料を勝手に持ち込みまして、その部分だけでも雰囲気を変えられたかなと思います。『良い気持ちにさせよう〜様々な生き方〜』というタイトルだったのですが、自分がスカウトになってその人のいいところ、例えばこの人は顔がいいスタイルがいいところを探しながら、それぞれにやってみてくださいというものでした。3人が必ず一役担当するというので、実を言いますと、前々回の公開授業で行った自己アピールというテーマと同じ方法で進めました。あの時面接官と面接を受ける人と、その面接を評価する人事部の人という形で、必ず3人がどれか一役を担当しなくてはならないということでした。今回も同じことをやってみたのですが、あまりにも盛り上がりませんでした。それでも今後に繋がりはできたと思うので、次回以降の参考とさせていただきたいと思います。(普：3-7 若林功先生)



昨年は『推理ロジック』という題材でやらせていただきました。パズルといいますか、ロジックを解いて、その内容をみんなで話し合うという授業だったのですが、1年生の時にそういったパズル的なゲームをやっているのでも、去年はその教材がいいだろうと思って行いました。その時は、あまりにも生徒たちがパズルを解いてしまって、話し合いの時間を持て余して、ほとんど無言状態で終わってしまいました。今回はエゴグラムだから話し合う時間が重要なので教材をどうするか考えてきたのですが、生徒がやることなので生徒に決めさせて、その中から題材を決めていくことにしました。小論文対策として『死刑は廃止すべきか』というテーマで行ったのですが、内容的にとっても難しいので、果たして話し合いができるのかどうか不安でした。実際蓋を開けてみたら、生徒たちが結構真面目な意見を出していて、廃止すべき、存続すべき、それぞれいい意見を討論し合えたのかなと思いました。今回、この教材を私が選んだのではなく、生徒が選んだために活発な意見も出たのかなと。そういった意味で、昨年参加した際に比べて、今年は良くできたかなと自分では思っております。(情：3-1 高安利行先生)



昨年は『推理ロジック』を行いました。その時は題材も授業の展開、3Dの展開も、自分が全部仕切って生徒に答えさせて、その上で指示して話し合わせるという形式を取りました。今年度は『男女交際について考える』という題材からすべて生徒に選ばせて、最初と最後だけ自分が司会をしました。クラスには体育祭・文化祭等で比較的仕切るのが得意な生徒がいますので、今回もそうした2名の生徒に司会をやってもらえないかと言ったところ快く承諾してくれたので、紙だけ渡して「自分たちでこれだけやってくれ。あとは任せ」と言って、今回のような形になりました。所々うまくいかなかったところもありましたが、彼ら自身が時間や全体のバランスなど様子を見ながら進めてくれたので、その点が非常に良かったかなと。昨年一度経験しているのでも、慣れてきたという訳ではないにしても、ある程度のやり方というものが身に付いているので、5分ほど早く終わってしまいましたが、生徒中心にできたのが良かったかなと思います。(普：2-2 妹岡泰憲先生)



私は 3D の中で一番柔らかい話題かなと思いました『あなたはどんなペットを飼いたい?』を選ばせていただきました。もっと柔らかい話題がないかなと思ったんですが、他はみな難しい話題で無理だろうと思って、これをやりました。ペットを飼ってる生徒は結構多いですね。これも情操教育ということなので、少しはこういうことを話題にして考えることは大事かなと思いました。今日は公欠の生徒が多かったものですから、あまり活発には発言ができませんでした。また機会がありましたらやらせていただきたいと思っております。(普：2-9 伊藤仁先生)



機械科 2 年 2 組で『私のストレス解消法』の講義を任せていただきました。ストレスというと工業科の生徒も、作業中ですか、一般の授業中でも抱えている問題で、一番親しみやすいかなと思って選んでみました。毎回の 3D の時に気が付いたことがあるのですが、工業科の生徒に 3D をやると、どうしても合わなくなるところが出てきました。よって、今回は「ストレスの解消法」という雛形があったわけですが、そこに工業に関する内容を少し足して話を進めました。その結果、話は非常にスムーズに進んだと思います。ただ、生徒達の表現の仕方が少々問題もあるかと感じましたので、今度のホームルームの中でも人前で発言するということに対して改善していこうと思います。(機：2-2 雲土雅史先生)



1 年 2 組で『反論ゲーム』というものをやらせていただきました。今年が初めてでしたのでかなり緊張していました。やはりその緊張が生徒にも伝わってしまったので舞い上がってしまうかたちになってしまいました。悪い点は、舞い上がったままなかなか収束出来なかったことです。しかし、色々な意見が出たことは良かったと感じております。これからも勉強させていただいて、更に発展していけたらと考えております。(普：1-2 佐々木健太先生)



1 年 8 組で『もったいないが地球を救う』という内容で行いました。今回は生徒も私も初めてでした。もっと発言が出るかなと思っていたのですが、緊張してなかなか発言出来ないようでした。それなりにみんな頑張ってやってくれたので今回は良いかなと、次回は緊張せずに色々な意見が出れば良いかなと思います。(普：1-8 藤田敏明先生)



『もしあなたが親だったら』ということで、普段の授業と同じように話を聞いておりました。いつもと変わらず良く話を聞いてくれて意見も積極的に出してくれました。良くやってくれたと思います。今回、授業を進めて行く中で一つ発見したことがあります。これまでは問題のある生徒に“お前は何考えているんだ”と言ってきました。大人しい子はルールを守っているので注意する必要が無いですし、考えも聞いたことが無かったんですね。ところが今回はタバコを吸ったらどんなことを言うのか？テストで赤点をとったらどうするのか？という時の意見を初めて聞いたんですね。要するに彼らの表現する場所というのを今回初めて与えられたのかなという感じがします。

いい子はいい子なりにちゃんと考えてたのだなと感じ、これまでではそこに目を向けていなかったのだなと感じました。大人しい子があれだけ真剣に話し合いをして、意見を述べてくれたという新しい発見ができました。

(情：1-1 佐藤英次先生)

続いて、当日参加された先生方による感想等が述べられました



『もったいないが地球を救う』という授業で、一部生意気そうな生徒が“この授業がもったいない”“あの先生がもったいない”といったような発言をしておりましたが、担任の藤田先生は非常に上手にやられていたと思います。やはり色々な意見があるのも当然ですし、そういうものを封じてしまうとグループコミュニケーションは出来ないと思います。子供たちの考えというのはもの凄く奥深いと思います。本音をとことん言い合いながらぶつかり合うというのも良いと思います。その方が育って行くと思います。とても素晴らしい授業を見学させていただきました。

(KA 教育神奈川教育開発室代表／東京福祉大学・大学院：教授 星正雄先生)



このグループコミュニケーションというものは、これからの教育を変えていくような非常に価値のあるものだと感じました。エゴグラムや今回のグループコミュニケーションはこれまで私も経験した事ないことでしたが、これからはやはり本音で話し合える場を子供たちに提供して、子供たちに任せきって話し合いをさせるということが大事だと思います。2年2組「男女交際について考える」を見学したのですが、司会から時間の管理に至るまですべて生徒たちにやらせていた点は、本当に素晴らしい試みだったと思います。

(KA 教育 3D 研究所顧問／東京都教職員研修センター：教授 藤沢千代勝先生)



全学年を満遍なく見学させていただきました。クラスの雰囲気や生徒たちの取り組みを見ていて昨年と何か違うなと感じました。というのは先生方がこのグループコミュニケーションに対して慣れてこられて余裕もできたところで、生徒たちに色々やらせてみようとか、マニュアル通りではなく色々なクラスに応じてアレンジされている印象を受けました。あと、やはり1年生と比べると2年生、3年生と学年が上がるごとに生徒たちも慣れていた感じがしました。その一方で1年生の方が率直な意見がどんどん出ていたので、それも盛り上がって良いのではないかなと感じました。本校でもグループコミュニケーションを導入しているのですが、やはりマニュアル通りにはうまく行かないので、本校の生徒の体質だったりそのクラスの雰囲気に合わせ、教材を作り直して進行しております。今日の授業からも色々な工夫が感じられ非常に刺激を受けました。

(自由ヶ丘学園高等学校：笠間陽弘先生)



普段の自分の教科以外の授業を見せていただくという機会も少ないので、とても良い刺激を受けました。本校で3D教育プログラムを取り入れて4年目になりますが、私の受け持つ学年では色々な行事に時間を取られてしまい週に60分しか無いのですが、こちらの学校では3D教育プログラムがきちんと確立されていて羨ましく素晴らしいと感じました。来年からはもう少し時間も増えるので、本日教えて頂いたことを活かしながら授業を進めていければと思います。生徒さんたちが色々なことを考えて発言したり、生徒に任せでも進行が出来るのだなというのを見せて頂いて、本校の場合は中学生ではありますが、そういったやり方も学校に戻って色々な提案をしていければと思います。

(東京家政大学附属女子中学校・高等学校：崇田友江先生)



菊地 淳氏(KA教育) による当日のまとめ



本日は皆様ありがとうございました。

初めて体験された先生もいらっしゃると思いますが、やってみて初めてお気付きになることも多いかと思えます。また、初めてでなかなか思うようにいかなかったということがあったとしても、それは必ず次に繋がっていくものだと思います。全教室を見学させていただきましたが昨年、一昨年と比べて生徒たちが笑顔でイキイキしているという印象を受けました。内容的には多少問題がある部分もあったのかもしれませんが、自分の意見を自分以外の人間にちゃんと伝えるということは非常に勇気のいることで、貴重な体験だと思います。教室も非常に綺麗だし、それは日頃からの先生方の教育の成果なのではないかなと思いました。

とにかく先生方には目的をご理解いただきまして、そのことを生徒にお伝えいただきたいなと思います。やはり当日もさることながら事前準備というのが一番重要だと思います。私も色々な学校で年間 300 回くらい生徒対象の研修会だったり、保護者対象の講演会等を行っておりますが、毎回

前日の段階でシュミレーションをして学校に伺います。私の考えは 99% が事前準備で決まります。それくらい完璧な事前準備をしておくとか何かイレギュラーなことがあっても、結構うまくいくという経験をしております。是非「グループ編成」「リーダーの決定」「リーダーへの指示」「当日の運営方法のシュミレーション」を行ってみてはいかがでしょうか。その際、先生の最初の導入、思った事が言い合えるような環境づくり、そして最後は先生方のまとめ、それらが重要です。現在の社会に一番大切なものはやはりコミュニケーション能力です。こうした公開授業を通じてコミュニケーション能力の向上に貢献できれば幸いです。

(KA 教育：菊地 淳)

photo report



出来る・大丈夫・大成功

3D教育研究会

2011.11.5 3D教育研究会 公開授業見学会 in 小松原高等学校

株式会社K A教育

〒173-0012

東京都板橋区大和町12-12

03-6784-7675